

高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

10月29日(火)

佐藤先生が、公開授業をしました。古典の授業です。これまで古典授業と言えば、子どもがわからないので、「知識を教え込む→難解」という図式になっていたのを取り除きたいという授業でした。前の時間に、いろは歌を使い、古文の言葉の響きや調子に読み慣れて、さらに歴史的仮名遣いを知ることが行われました。生徒は、前の時間で学習したことを生かす展開になっていました。そして、その前の時間にならったことが、内容を考えることにつながっていくということになり、子ども自身も学習したことが、すぐに次の時間で使われ、それが、現代国語の解釈と同じように読み解くことができたという自覚はあったようです。学校便りでも書いていますが、知識偏重でなく、習ったこと覚えたことをどう使って考えていくかを大事にした授業です。当たり前ですが、知識は知識でしかなく、どのように使うかが大事になります。だからといって、知識がないところに考えよと言われても困るのです。そのバランスが2時間で完結を見えています。ただ、高校と違って、多くの時間に割けないのが残念ですが、中1で8時間でひとまとまりの授業をしています。

10月30日(水)

9時ころ、李さんが職員室に入ってきて「外で、消毒をしています」という報告がありました。すぐに、放送をして窓を閉める対応をしました。(あとで担任に聞いたら、子ども達は教頭先生の放送に緊張して聞いていたとのこと。大事な姿勢です。先生方は、学校の外に不審者が出たのではと思った人もいたとのこと) どうも、デング熱の関連で、突然、散布をしたらしいのです。(事前に連絡無し) 校舎の外から白い煙が見えました。

それから、20分くらいたって、サイレンの音がするので、李さんと教頭先生に指示を出し、その音の元を探ってもらいました。私はその報告を待って対応しようと思ったのですが、プールの脇に何台も消防車が見えます。火は見えていないので、外に出て確認に行きました。消防車が8台は来ていたし、救急車も来ていました。でも、火は見えません。

どうも、消毒の煙に反応した方が通報をしたようですが、定かではありません。消防車騒ぎは子ども達にいらぬ心配をさせないために、連絡はしませんでした。そうしたら、大石先生が、子どもたちも同じことを言っていたとのこと。ついでに、私が蚊退治用のスプレーをもって、見に行ったのが不思議だったという報告を受けました。私は、トイレの蚊を退治にと行って持ってきたら、この騒ぎで持って出たのでした(中2諸君へ)。

池上文庫の劉理事長から電話がありました。「校長先生、お宅の学校は子どもがトイレ掃除をしていますか？」との質問でした。「もちろん子どもがしています。」劉理事長は、今、高雄市でトイレの掃除をどうするのが問題になっている（私も、新聞で確認しています。職員室で聞いたら、日本では、まったく子どもがトイレ掃除をしないという学校はありませんでした。林さんのお子さんが通う学校は業者とのこと）と話をしていました。

私の見解は、子どもが教育の一環ですべきことと思います。指導は、教員が行います。できれば、家庭でも手伝い程度でもいいですが、利用の仕方を教えるだけでなく、一歩進んでいただきたいと思います。（ですが、本当の隅々まで、管の中までは素人の私達では無理ですので、必要に応じて業者を頼むことも出てくるかもしれません。）

11月1日（金）

31日の夜8時過ぎ、マンションの16階の自宅にいました。めまいかなと思ったのですが、ベランダの電球が揺れていました。地震だと思い、テレビを付けました。花蓮でマグニチュード6.？、高雄での震度は出ていませんでした。学校に来てみましたが、目視する限りは何事でもありませんでした。本日、時間を知らせないで、地震を想定した避難訓練をしました。落ち着いて訓練ができました。ただ、ころんでしまった人もいました。

また、今日は、PM2.5の値が基準値を超えた時間帯もありました。12:00には、基準値を下回りましたので「外遊びは禁止ではありませんが、調子が悪い人は、先生と相談してください」という放送をしました。

学校便りのICTについて：ICT＝インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジーの略とのこと。

- 学校では、①意欲・関心を引き出し、理解を深める→拡大や動画等を用いる
②一人一人の能力や特性に応じた学び→個々に適した課題の提示や指導
③子ども達が教え合う学び→考えを共有したり、比較して意見を述べ合う授業
④他の学校とつながる授業

現在の当校は、日本と比較して、機器的にはまったくダメです。が、今回の移転に伴い豪華ではないですが、システム的には進んでいると言われている学校にも遜色ない内容になるよう設計をしています。台湾の業者、日本の業者、さらに、日本のメーカーとも話し合いを進めています。

（以前にも書いたと思いますが、10年以上前にすでにシンガポールでは小学校段階で、エクセル、ワード、パワーポイントを使えるようなカリキュラムが存在し、数年前、イギリスでは全ての学級で電子黒板を導入することが決められ、盛んに使われていました。しかし、イギリスの場合、まだ、使い方が安定していないのか、視察した限りでは、フラッシュカード的に使っていて、上の②③には対応していませんでした。）